

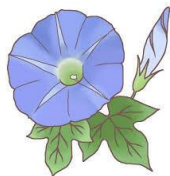


十二月田小だより

学校教育目標 進んで学ぶ子 仲良くできる子 たくましい子

児童数 男子508名 女子482名 計990名

㊦っかりと聞き・㊦くわく未来を語り・㊦すんで学び・㊦れにも仲良くできる しわすだっ子



楽しく安全な夏休みに

校長 竹内 まゆみ

おかげさまで、本日で終業式を迎えます。保護者や地域の皆様にはたくさんのご支援・ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

明日から子供たちにとって待ちに待った夏休みに入ります。学校では、プール指導、算数サマ一教室を計画しています。どうぞ、進んでご参加ください。

さて、国では毎年7月を「青少年の非行・被害防止全国強調月間」と定め、青少年問題等への対応を強化しております。川口市内の少年犯罪（20歳に満たない者）の状況は減少傾向にあるものの、いちばん多いのが深夜徘徊（11時以降は補導の対象になります）、喫煙、粗暴行為、不良行為（無断外泊等）と続きます。SNSへの書き込み等も増加傾向にあり、補導される少年の大半は、サイトについての保護者からの注意は受けていないということです。スマートフォン以外にも、ゲーム機・音楽プレイヤーの中には、インターネットへの接続やアプリの利用が可能なものも多くあります。先日、南平地区小・中学校長並びに南平PTA協議会として「携帯電話・スマートフォン・インターネット使い方のきまり」を出しました。社会のルールやマナーを教えるのは、大人の責任です。もし、お子様に持たせる場合は、それぞれに対応するフィルタリング[有害サイトや不適切なアプリをブロック]を設定した上で、使い方についてお子さんと一緒に話し合っていたいただきたいと思います。

十二月田中学校の期末試験に合わせて、「ノーメディア週間」の取組を行いました。昨年度末に6年生を対象に実施したものを今年度は全学年に広げて取り組みました。

保護者の方の感想をいくつか紹介します。ご協力、ありがとうございました。

- いつも必ず見ているドラえもんやクレヨンしんちゃんも我慢して、勉強をがんばっていました。（1年）
- 我が家は中学生のお兄ちゃんが期末テストの勉強のため、この期間は兄にも協力しようという雰囲気でした。テレビを見ない間は普段よりも本をよく読んでいました。こんな長い本を集中して読めるようになったのだという発見もありました。（2年）
- なかなか難しい取り組みだなと感じました。次回は事前に図書館に行き、伝記を借りてみたいと思いました。出来そうなところから少しずつできるといいのかなと思いました。（3年）
- ふだん、テレビやゲームができるのが当たり前になっていましたが、ノーメディア週間を通じて、子供と外で遊んだり、情報が入ってこない不便さを話したり、なんだか楽しい毎日でした。（4年）
- 宿題としてこういった取組があると、自分から「ノーメディア」を意識することができてとても良かったです。メディアに使っていた時間を家族の人と上手に使うことができたようですね。（5年）
- 1週間とても頑張りました。弟にもノーメディアの意味やどうやって過ごすのかを話し、土曜には、お父さんに「これから自主的にノーメディアをつくろう!」と提案していました。話す時間ができて本当に良かったです。（6年）

小学生になったのだからと、自立に向けて一人でできるように仕向けることは大切なことです。しかし、子供が親と一緒に何かをしたいと思う時期は、おそらく長い人生の中でもわずかな時間です。人と信頼関係を築き、社会の中で生きていく力は、必要なときに耳を傾けて心を寄せてくれる大人－親子関係があってこそ、育まれることと痛感しています。

それでは、ひとまわり成長した子供たちに新学期に会えることを楽しみにしております。